

【めむろ未来ミーティング日程7】

令和8年1月17日（土）

10:00～11:25

■参加者 16人

■芽室町 町長、副町長、
教育推進課長、生涯学習課長、
魅力創造課参事、環境土木課長、
政策推進課長

■記録 政策調整係

■対応・検討が必要な事項

なし

1 開会

2 町長挨拶

3 町からの説明事項

資料1 芽室公園 Park-PFI

資料2 都市公園ストック再編計画について

資料3 新嵐山スカイパークについて

4 意見交換

(1)資料1・2についての意見交換

【参加者】

経済波及効果シミュレーションで推計7億円ということだが、その根拠を聞かせていただきたい。

【町長】

この後担当から説明するが、町に直接7億円入るということではなく、関連産業への波及効果や雇用なども含め町全体としてどれくらいの効果があるかをシミュレーションした。

【魅力創造課参事】

経済波及効果のシミュレーションにはいくつか考え方があり、直接効果と間接効果という言い方をする。直接効果は売り上げに伴うもの。施設ができ

た時に、モンベルも含めたビジターセンターで年間5万人、屋内遊戯施設で年間5万人、合計10万人の来場を想定している。10万人が新たに芽室町に来ると買物や飲食で14億円のお金が動くと言われており（モンベルの売上は含めない）、そのうち直接地域内の売上になるのが5億6000万円。

間接効果は、そのお店は町内外の店から仕入れをすることで、町内同士の仕入れで約1億4000万円～5000万円仕入れたり売ったりする。さらに第二次間接効果といって、それだけ人が増えると、お店も新しい人を雇ったりするので、その人たちがまた新しい消費をするだろうというところや、賃金を上げたりというところで、7億円の経済波及効果があると分析している。

【参加者】

小さな子どもやキャンプ用品に関連する人たちだけが潤うのではなく、町全体が潤っていくないと、町を挙げて応援するという機運に繋がらないと思う。今から商店街や他業種に協力をお願いしたり、定期的なイベントを検討する等、町全体が盛り上がって良かったとなるようお願いしたい。

【町長】

私どもとしては年間10万人の来場者と7億円の経済効果がきちんと実現するようにしたい。さらにまちなか再生もやっているので、単に公園に人が来て消費をして帰るのではなく、いかに商店街の流れにもっていくかということも必要だと思う。商工会や商店会とともに検討していい流れを作りたい。芽室公園での飲食は2店舗を想定しているのが、そこでは賄えない部分があると思うのでまちなかに来てもらうとか、さらには新嵐山の再生もやっているので町内で循環できるようなルートづくりやPRなど、そういったこともこれからやらなければならぬと考えている。町全体に経済が循環したり波及することを目指していきたい。このエリアは総合体育館や温水プールなど基本的にスポーツを中心としたエリアになっている。屋内遊戯施設ではファミリー層をターゲットにして、小さな子供と家族に来て

いただいて、あるいはスポーツも楽しんでいただく。公園の噴水は夏に人気があるので、公園全体で滞在してもらえるように考えていきたい。

余談だがこのエリアに3×3ができるバスケットコートを作れないかを考えている。今は東工業団地の公園にあるので、中学生がわざわざ自転車で行ってバスケットをやっているという実態がある。遊具とは違うかもしれないが、そういう環境づくりもやっていきたい。

【参加者】

この契約の事業は何年かかるのか。何年でできるのか。

【町長】

今、事業者が選定され、令和8年度に設計、令和9年度に着工・工事で令和10年3月を目指に考えているのでおよそ2年と考えていただければ。

【参加者】

国の補助金なども申請すると思うが、建物などは国の耐用年数がある。建物では8年など。町で持っているものであれば、管理しなければならずお金がかかる。その辺は大丈夫なのか。

【町長】

イニシャルコストつまり初めに建てる時のお金は、民間資本もかなり入れていただく。本当はこの5億円ではとてもできない。民間に建てていただきて、町は逆にお借りするという形をとる。また、特定公園施設という駐車場とか屋内遊戯施設みたいなものは町が関わることになるので、最大限5億円まで負担しますというルールを作らせていただいた。それに加えてランニングコストつまり維持するためのコストが7000万円と3600万円でおよそ1億円ずつかかるということになる。これからも町の負担を軽減する努力はこれからもしていきたい。町全体として必ずペイするかということになると先ほど出た経済効果もあるので、町の責任として、町内全体の経済が潤ったり賑わいができたということ

ろ、毎年1億円ぐらいの負担で進めていきたい。

【参加者】

町内には施設や公園が何十か所もあるといつていいが、これは結構経費がかかることを整理なり手がかかるようなものにしていけば、若干そういう部分も出てくると思う。

【町長】

現在52の公園があるが、経費を下げる事が前提ではないが、色々な機能を集約することであまりお金をかけない公園も出てくるのは事実だと思う。そういった意味で、浮いた経費を使っていくということも重要だと思う。公園全体の考え方として整理していきたいと思っている。

(2)資料3についての意見交換

【参加者】

概算運営費について。指定管理委託料は、以前は宿泊施設や自家発電もあり経費がかかっていたが、今回はセンターハウスにしたのに指定管理委託料が同じというのが疑問。

【魅力創造課参事】

概算運営費の指定管理委託料は、令和3～5年度とそれほど変わらない数字となっている。以前の運営では年間2000万円という大きな赤字だった宿舎を今回はやらないのになぜ指定管理委託料が変わらないのかというご質問だと思う。前提として、令和3～5年度の指定管理委託料は令和2年度に業者と詳細の設計をして決めていく。そこから5年ぐらいが経過していく、現在人件費や光熱費が非常に高騰している。令和3～5年度の費用を今の費用で換算してみたところ、今より2000万円ほど上がる試算になった。つまり実質約2000万円圧縮をかけている状態である。採算の合わない部門を廃止しスタッフも圧縮しながらやっているが、人件費も光熱費も上がり今後も上がる想定をしながら設計しているため、見た目には変わらないように見えるが、実質は2000万円ほど圧縮をかけたような数字にな

っている。

【参加者】

人件費は今後も上がると思うが、雇用人数の確認は、誰がどの時点でやっていくのか。

【魅力創造課参事】

指定管理の制度上、町で指定管理体制の基準額を作る。夏は、現場で働く方と、労務管理や会計処理といった管理する方で正社員7人が必要というところで設計させていただいている。スキー場は、今のA線B線を動かすだけで40人ぐらいのパートさんを雇っている。1週間休みなしなので、40人の中でシフトを組んで対応していただいている。あわせて券売は5人を雇っていただいてシフトを組み、その他にも除雪機を動かす人や圧雪車に乗る人など、スキー場は冬だけでも50人ぐらい人が必要。全員が毎日8時間働くわけではなくシフトを組んで対応するので、その人数を雇えるような積算をしている。夏と冬で相当人の数が違うが、そこも基準にしながらやっている。あとは、事業者の方に工夫していただいて基準額の中でやってくださいというところで、今回は基準額の中で民間事業者から提案をいただいたので、この事業者と今後5年間やりたいということを議会に提案し議決をいただいた。

【町長】

大枠の話をさせていただきたい。資料P8の中ほどに色々な計画名を書いてあるが順番としては、経営破綻してこれからどんな新嵐山していくかということを「あり方の骨格」で作って、「グランドデザイン」はあったらしいよねというものをすべて土俵に上げてある意味膨らんだ。しかし現実的に財政状況や機能が本当に必要かということを検証したものが再生基本構想や、今回の基本計画。例えば、宿泊機能、温浴機能、パークゴルフ機能はなくなる。今までの経営状況を見ていてペイしないことや、財源のこともあり、削いできた。財源も含めてやれると整理したのがこの29億円、町の実質負担で3億5000万円という数字になったということでご理解

いただきたい。

人件費等の話で行くと、宿泊やレストランや温浴の入浴料は少なくて済むが、一方でキャンプ場は充実させて維持管理もしっかりやっていくとか、リフトについても通年利用になるということもありそういう人件費はプラスされる。人件費としては少なくなるべきだと思うが、経費もあるので、そういったところを全体として考えて、町の負担としてやれると3億5000万円、10年間で返していくとなると年間3500万円、さらに指定管理料で、以前と同じぐらいの金額でやらせていただくということになった。

【参加者】

心配なのは夏場のリフト。林道で展望台まで行って素晴らしい十勝平野が見られるのでアイデアとして夏場運営するのはいいと思うが、夏場のリフトは苦労すると思う。リフトに1回乗ったら、町内で50円引きになるなど、乗せる工夫が必要。また、これまで新嵐山の斜面に牧場があり牛が雑草を食べていたが、牧場が統合されてなくなってしまうので、リフトで登っていく時に雑草がぼうぼうに生えていると見た目が良くない。

【町長】

林道は農林課主管の管理用道路という整理。拡幅や再整備の話が出るが、10年前の試算で3億円、今なら5億円はかかるため、整備は考えづらい。上まで歩いていくのも厳しいので、通年でリフトを使って活用したい。課題としては、展望台には水が通つておらず整備をするとなると多額のお金がかかるので、今のところはキッチンカーなどで対応できぬいかと考えている。トイレや展望台も古いで少し改修を考えている。夏場頂上に上がるメインの手法はリフトを考えていきたい。おっしゃる通りPRは重要だと思っている。

斜面については、今後は指定管理者が維持管理をすることになる。放牧ではなく、例えばマウンテンバイクで上からおりてくるとか、イベントなど、民間の力も借りながら考えていきたい。今まででは夏場

は完全に放牧地という形になっているが、放牧頭数の関係もあり縮小するので、通年において斜面を使える方向にもっていきたい。その部分でも少しでもお金がおちるようと考えていきたい。

【参加者】

再生基本計画の細かい方を読んだが、夏場の展望台の利用者数が月250人で、1日になると10人弱。この想定人数で、わざわざお金をかけてリフトを動かしても採算が取れないと思う。斜面の利用も含め人員を膨らます方向をしっかり考えないといけないと思ったので考慮いただきたい。

【魅力創造課参事】

夏場の平日は厳しいと想定しているので、週末や祝日の運行を想定している。月でいくと週末だと8日とすると、1日30~40人ぐらいかなということを想定している。人件費についても毎日動かすとそれだけリフトに人をはりつけなければならないので、週末を中心に動かす想定。PRができて人が増えれば日数を増やすとか、利用状況を見て逆に少し時間を絞るといったところは考えていかなければならぬと思っている。通年という表現が分かりづらくて申し訳ない。夏場についてはそういう使い方を想定している。

【参加者】

前回指定管理業者が経営破綻して、先ほどの話で色々スリム化するという話は聞いているが、経営破綻後の総括を見るとかなり深いところまでつっこんだ総括だった。今後経営に対して、総括でまとめたものを具体的にどう実行していくのか。

【町長】

感覚論で申し訳ないが、今まで今の時点でどんな運営方針をもってどういう風にやるというところまでは言えないが、イメージとしては町の関与を少しずつ少なくするというスタイルを考えている。丸投げとか関わらないという意味ではない。民間事業者のノウハウや民間の資本、民間の発想をメインに

してやっていく方向。ただ、全然ペイしないとか、そんな無茶なことをやってもダメだよねということは、町としてもしっかり申し上げさせていただき、指定管理料をしっかり払うのでその中でやってくださいという運営形態になると思う。今後そういう運営の方針を両者で考えていかなければならぬと思っている。今の会社で5年間の指定管理はもう決まっているので、そういうステップを踏んでいきたい。

指定管理にはいろいろな仕組みがあり、今まででは収入があればその分指定管理料から差し引くこととしていたが、利用料をどんなに稼いでも指定管理から差し引かれるので、結局収入としては同じという形になってくるので、前の会社も厳しかったようだ。収入も波が激しいので定額で指定管理料を支払いその中で運営してもらうという形でやらせていただきたいと思っている。

【参加者】

概要をお聞きすると、スキーをする方やペットを飼っている人など限られた人しか新嵐山を使うことができないということが考えられる。私はペットもないしスキーもしない。我々の世代が新嵐山に行って何か遊ぶというのができないかなという気がする。そうなればなかなか足を向けて行くことができない。せっかくであればいろんな年齢層の方が新嵐山に行って有意義に楽しむことができるようなものを加えていただければ、もっともっと利用することができると思うので、ぜひよろしくお願ひしたい。

【町長】

確かに私もスキーはやらなくなってしまったスキー場に行くこともなかなかない。スキー場に関しては社会体育施設的な言い方をしているが、十勝の資源としてメムロスキー場は大事だと思っている。ファミリーゲレンデもあるし、授業や自衛隊さんの訓練などでも使っていただいているので、町の責任としてそういう基盤は残していくことを、ご理解いただきたい。

キャンプ場なども充実させて来ていただける方

を増やしていきたいというのと、アウトドアを使った健康の拠点みたいなところもあっていいのかなと思っている。アウトドアメーカーのモンベルさんとも色々連携させていただいており、モンベルさんも登山教室や野外での健康アクティビティなどの企画もされているので、そういうところもソフト事業として考えていかなければならぬ。おっしゃる通り幅広い年齢層が行けなければ意味がないし町民の憩いの場になってこないので、そこは念頭に入れながらやっていきたい。

もう1点、これからどうなるかわからないが、第三駐車場やワイナリーがあるような場所、あるいはオートキャンプ場が前にあった場所は、町としての利活用は考えていないので、民間活用ということで公募をかけたいと思っている。民間で興味のある方の提案が集客の1つのアイテムになっていくのかなと思っている。皆さんによく宿泊施設や温浴のことは言われるので、そこに限ったわけではないが、もし民間としてそういう提案があれば、売却なり貸し付けというのは考えている。今言ったもの以外の提案もあるかもしれないが、期待している部分はある。

【参加者】

今の部分に関連して、資料P9に全体配置計画があり、新嵐山スカイパークの全体的なものがこの赤いエリアの部分だと思うが、先ほど言っていた元のキャンプ場とか第3駐車場は赤いエリア外。ということは、町は管理や運営はできないという認識でよいか。

【町長】

今新嵐山を都市公園化しようと考えており、町が公園として活用する区域を赤い部分で明確にさせていただいている。それ以外の部分については、民間などを活用していくこうという区域。手放すことを前提にしているわけではないが、町として利活用する考えはないので、今おっしゃったとおりの流れになっているだろうと思う。

【参加者】

民間活用の時に、国の補助金などがあたる可能性が出てくるものなのかな。それとも民間の資本でやってくださいということになるのか。

【町長】

種別や何をやるかによって補助も違ってくるし、(補助などがあたる場合は)公が間に絡まなければならぬ可能性は高いので、そこを町としてどう判断するかというところ。基本的には、民間ベースで該当になるのであれば民間で申請していただくという形になってくるのかなと思う。まったく関わらないとか相談を受けないという意味ではない。

【参加者】

展望台を作り変えるのかなというのと、リフトが今ある駐車場の辺りまでいくということかなと思う。夏場の利用で、遠軽のグラススキーのようなことをすれば週末リフトを使う可能性が出てくると思う。検討はこれからだと思うが、夏場グラススキーをやるならリフトが展望台まで行くと厳しいのかなと思うので、その辺のことも含めて色々な角度で考えていただければと思う。

【魅力創造課参事】

遠軽町の事例では、ジップラインも含めて道の駅をやっていて、私たちも調査させていただいている。夏のスキーでは草の上に特殊なタイルを貼ってスプリンクラーで水を撒いてスキーをされているが、サマーゲレンデ用の設定をしてエッジを変えるなどのノウハウが必要なことや、タイルが非常に高額な上に定期的な貼り替えが必要で経費が合わないという話を聞きしたので、検討はしたが、今回の基本計画から除外させていただいた。ただ、おっしゃる通り、斜面をどう使うかは非常に重要なと思う。冬の人工降雪機についても、きちんと草刈りをしないと草の上に雪を降らせてても根付かない。管理を含めて活用をしていかなければと考えている。

【町長】

他会場でも夏場の活用についてはお話を出てい

る。十分参考にしながら活用方法を考えていきたい。

【参加者】

せっかく新嵐山をまたやるということなどで、芽室の小学校全部が利用して児童がスキーを滑れるよう授業時間を残しておいてもらえるようにしてほしい、というお願い。

【教育推進課長】

去年今年の例で行くと、上美生小学校・中学校が使っている。以前は芽室西小学校・中学校も利用していたが、保護者の皆さんにご協力いただきながら授業を実施できたという経過もある。ご意見は各方面に伝え、活用に向けて学校にも話をさせていただく。

【町長】

スキー学習は一旦授業から離れてしまうと、用具を買うとか引率などで難しい部分がある。高校も、メムロスキー場が休止することによって、新得山や忠類に動いていったところもある。新嵐山は近いので、できれば戻っていただけるよう営業もやっていきたい。今日この場に教育長はいないが、しっかり話をさせていただく。

(3)その他についての意見交換

【参加者】

町内会の加入率が5割を切っている。他町村も同じで、加入促進はしているが多分このまま復活はないと思う。加入率が下がると行政も手間がかかる。民生委員の推薦、災害関係、ゴミステーション関係など。今年度、町から補助をもらってありがたいが、やはり意識が違う。町内会連合会の会長も、昔から続いている町内会の再生ではなく、今の時代にあつた町内会をと言っている。長期的に考えてやっいかなければならない。現実的には若い人はもう入らないと思うし、若い人だけでなく年配の人も離れている。「任意であればもう行政は行政でやってください」ということになってしまったことを危惧している。

1つ1つ分析して原因を見て。町民としては、半分

入っていないということは困らないということ。行政もこれはまずいということで力を入れているが、中長期的に見て、ここは町内会でやる、行政が絡むものは経費がかかるよと町民に訴えて行政がやってあげるとか、その辺の選択肢を町民に訴えていかないとだめだと思う。

私の町内会は、戸建ては（町内会に）入っているがアパートは全然（入っていない）。将来に向かって、行政として、町内会をどう位置付け、力を借りて、町政をスムーズに経費がかからないように運営できるか。そして、人の結びつきがないとだめなので、その辺もお願いしたい。

【町長】

我々も町としてもどうしたらいいかをずっと考えているが、加入率低下の歯止めがかかるないというのが今の状況。公共サービスパートナーも、町内会自体がなくなる例もあるし、公園清掃や広報配布などもできないと断られる状況も出ている。例えば広報誌では、町内会にお願いするのではなくて、全部を配布団体に依頼することも考えていかなければならぬような状況。公共サービスパートナーは、町内会加入率が80%ぐらいであれば、昔自主自立を目指した時であれば有効な手法だったが、その当時のバリバリ現役で活躍していた方がもう70～80代になってくるので、現実的にやっぱり難しいと私も感じている。いつまでも町内会にお願いするということにはならないと思う。新たな視点でのコミュニティをどうするかというところも考えなければならない。町内会をなくしたいということではなく、違う形でコミュニティができるのか、あるいは若い世代が集まるようなコミュニティができるのか、を考えざるを得ない。

3年間はしっかりとお金もかけさせていただいて復活に向けてどうできるかを挑戦していただいているので、それはその活動として続けていただきたいが、町としてはそういう視点も持ってやらないと難しいのかなと思っている。答えになっていないが、今は隣に誰がいるのかも分からない状況なので災害とかでは非常に厳しい。そういうくくりで何かで

きないかなとか、考えていかざるを得ない。少しでも早く前向きにいろいろ考えていかなければならないという気はしている。



11時25分終了